

令和4年度 定時総会 議案書

日 時 令和4年6月9日（木）13時50分～14時40分（予定）

会 場 山形県総合文化芸術館（やまぎん県民ホール） 大ホール
山形県山形市双葉町1丁目2-38

議 案 第1号議案 令和3年度事業報告

第2号議案 令和3年度会計決算報告並びに監査報告

第3号議案 理事2名の選任

公益社団法人 全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18

東京都中小企業会館4階

TEL：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050

E-mail： bunka@zenkoubun.jp

公益社団法人 全国公立文化施設協会
令和４年度 定時総会 次第

会場 山形県総合文化芸術館 大ホール
(やまぎん県民ホール)
山形県山形市双葉町１丁目２-38
日時 令和４年６月９日（木）
13時50分～14時40分（予定）

総 会 13時50分～

議長選出
定足数確認
議事録署名人の選出

議 題

第１号議案	令和３年度事業報告
第２号議案	令和３年度会計決算報告並びに監査報告
第３号議案	理事２名の選任

目 次

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告

I 公益目的事業

A 調査研究事業

1 研究大会（栃木大会）…………… 1

2 専門委員会活動状況
（全体会、経営環境部会、事業環境部会、特別部会）…………… 2

B 研修事業…………… 4

C 情報提供事業…………… 4

D 公立文化施設支援事業…………… 4

E 文化庁委託事業

劇場・音楽堂等基盤整備事業…………… 5

（1）芸術文化情報提供事業

（2）研修・交流事業

II 法人会計（法人運営）

1 定時総会…………… 7

2 定例理事会…………… 7

3 臨時理事会…………… 9

4 協会設立 60 周年記念事業…………… 10

5 新型コロナウイルス感染症への取り組み…………… 10

6 令和 3 年度会員入会状況（正会員、準会員、賛助会員）…………… 11

7 令和 2 年度退会状況（参考）…………… 14

III 収益事業

1 団体保険制度の概要…………… 15

2 令和 3 年度公立文化施設制度保険加入状況…………… 17

IV 附属明細書…………… 18

第 2 号議案 令和 3 年度会計決算報告並びに監査報告

貸借対照表…………… 19

正味財産増減計算書…………… 20

正味財産増減計算書内訳表…………… 21

財産目録…………… 22

財務諸表に対する注記…………… 23

附属明細書…………… 24

監査報告書…………… 25

第 3 号議案 理事 2 名の選任…………… 26

令和3年度事業報告について

令和3年(2021)年度は、新型コロナウイルス感染症により昨年度に引き続き研修事業(文化庁委託)の「劇場・音楽堂等基盤整備事業」の一部に実施方式の変更などが発生した。また、支援事業である松竹大歌舞伎公演も中止とせざるを得なかった。一方で国のコロナ感染症対策の補正予算から新たに「アートキャラバン事業(大規模型)」の採択を受けるなど事業の拡大につなげることができた。併せて、協会設立60周年記念事業として、「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション」を実施し、3施設を採択し総会での表彰を予定している。

法人運営においても新会長の選定や執行役員の改選など執行体制の移行の年となり、新体制のもとで事務の効率化や継続事業等の見直しを図った。また、公文協は全国組織であり従来は理事会や専門委員会の開催、事業の打ち合わせ等の際は「出張」を伴ったが、リモート会議の一般化により執行役員や委員等の会議開催や会員交流が日常的に進むなど、組織として活性化が図られた一面もあった。

I 公益目的事業

A 調査研究事業

1 研究大会(栃木大会)

趣 旨 全国の公立文化施設の関係者が一堂に会し、当面する諸課題について研究討議することにより、施設の円滑な運営と積極的な活動に資するとともに、地域の文化芸術の振興を図る。

主 催 (公社)全国公立文化施設協会、同関東甲信越静支部

後 援 文化庁、栃木県、宇都宮市

月 日 令和3年6月10日(木)・11日(金)

会 場 栃木県総合文化センター

参加者 公立文化施設の関係職員、地方公共団体文化行政担当者、その他公立文化施設の事業及び運営に関心のある者

研究大会日程

第1日目 【6月10日(木)】

内 容	時 間	会 場
分科会(3部会討議)		
第1分科会【基調講演・パネルディスカッション】 テーマ:「コロナ禍における公立文化施設の新たな役割」 モデレーター:矢作勝義氏(穂の国とよはし芸術劇場芸術文化プロデューサー) 講 師:佐藤 信氏(劇作家・演出家/座・高円寺芸術監督) パネリスト:松井憲太郎氏(富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ館長) 小川智紀氏(NPO法人STスポット横浜理事長)	15:00～ 17:30	サブホール
第2分科会【基調講演・パネルディスカッション】 テーマ:「コロナ禍における持続可能な劇場経営を考える」 モデレーター:岡本健一氏((公財)川西市文化・スポーツ振興財団常務理事) 講 師:谷本 裕氏(沖縄県立芸術大学音楽学部教授) パネリスト:津村卓氏(北九州芸術劇場前顧問/(一財)地域創造プロデューサー) 藤村順一氏(兵庫県立芸術文化センター総括アドバイザー)		第1会議室

第1号議案

第3分科会【基調講演・パネルディスカッション・調査報告「チケット販売」】 テーマ：「With コロナ時代における事業財源の確保について」 ～地方における中小ホールの取組事例と新たな展開の可能性を考える～ モデレーター：小林純一氏（丹波篠山市立田園交響ホール館長） 講師：伊藤 美歩氏（（有）アーツブリッジ代表／日本ファンドレイジング協会理事） パネリスト：並河賢一氏（スサノオホール） 松田正弘氏（浄るりシアター館長） 調査報告：高木利夫氏（静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）支配人）		特別会議室
参加者の集い	18:00～ 19:00	リハーサル室

第2日目 【6月11日(金)】

内 容	時 間	会 場
3分科会報告	9:30～ 10:00	サブホール
文化講演 テーマ：世界遺産「日光の社寺」 講師：新家 守氏（日光市教育委員会事務局文化財課主幹） 福田裕子氏（日光市教育委員会事務局文化財課副主幹）	10:10～ 11:10	
芸術公演 ジャズ演奏「ジャズの街うつのみや」 出演：大西 順子トリオ	11:20～ 11:50	
閉会式 閉会あいさつ：池澤真司氏（栃木県総合文化センター館長） 次期開催館あいさつ：小関正弘氏（山形県県民文化館 館長補佐）	11:55～ 12:05	

2 専門委員会活動状況

(1) 全体会

- 第1回 令和3年5月20日（木） ZoomによるWeb会議 委員20名
 ・委員長、副委員長の選任について

(2) 経営環境部会

- 第1回 令和3年5月20日（木） ZoomによるWeb会議 委員7名
 ・部会長選任及び役割・業務分担について
 ・部会の検討事項、運営について

- 臨時 令和3年8月27日（金） ZoomによるWeb会議 委員8名
 ・部会内の役割分担について
 ・プロジェクトチームの設置及びテーマについて
 ・令和4年度研究大会（山形大会）分科会テーマ、登壇者について

- 第2回 令和3年10月26日（火） ZoomによるWeb会議 委員7名
 ・理事会諮問事項の進捗状況について
 ・令和4年度研究大会（山形大会）分科会テーマ、登壇者について

- 臨時 令和3年12月24日（金） ZoomによるWeb会議 委員8名
 ・プロジェクトチームのテーマ設定について
 ・委員以外のプロジェクトチームメンバー追加提案について
 ・令和4年度研究大会（山形大会）分科会テーマ、登壇者について

- 第3回 令和4年2月1日（火） ZoomによるWeb会議 委員8名
- ・プロジェクトチームの進捗状況について
 - ・令和4年度研究大会（山形大会）分科会テーマ、登壇者について
 - ・部会長交代に伴う新部会長の選出について

(3) 事業環境部会

- 第1回 令和3年5月20日（木） ZoomによるWeb会議 委員25名
- ・部会長選任及び役割・業務分担について
 - ・部会の検討事項、運営について
- 臨時 令和3年8月25日（金） ZoomによるWeb会議 委員8名
- ・理事会からの諮問内容について
 - ・プロジェクトチームの設置について
 - ・部会内の役割分担について
- 第2回 令和3年10月25日（月） ZoomによるWeb会議 委員6名
- ・プロジェクトチームの進捗状況について
 - ・部会の運営等について
- 第3回 令和4年1月31日（月） ZoomによるWeb会議 委員8名
- ・プロジェクトチームの進捗状況について
 - ・部会の運営等について
- 臨時 令和4年3月30日（水） ZoomによるWeb会議 委員8名
- ・部会長交代に伴う新部会長の選出について

(4) 特別部会

- 第1回 令和3年5月20日（木） ZoomによるWeb会議 委員9名
- ・部会長選任及び役割・業務分担について
 - ・部会の検討事項、運営について
- 第2回 令和3年10月25日（月） ZoomによるWeb会議 委員10名
- ・プロジェクトチームの進捗状況
 - ・部会の運営等について
- 第3回 令和4年1月31日（月） ZoomによるWeb会議 委員11名
- ・プロジェクトチームの進捗状況
 - ・アンケートの回収状況について
 - ・部会の運営等について

第1号議案

B 研修事業

- 1 令和3年度全国、地域別 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会
- 2 令和3年度全国、地域別 劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会
(「E 文化庁委託事業1の(2)の項」参照)

C 情報提供事業

- 1 「全国公立文化施設協会ホームページ（全国劇場・音楽堂等総合情報サイト）」
(<http://www.zenkoubun.jp>) による情報発信
 - ①(公社)全国公立文化施設協会の紹介（定款、役員名簿、会員名簿、事業報告、会計報告等）
 - ②発行資料の紹介（研修会報告書、全国公立文化施設名簿等）
 - ③文化庁委託事業〔劇場・音楽堂等基盤整備事業〕
 - ④保険
 - ⑤政策・制度等
 - ⑥研修・イベントの紹介
 - ⑦活動支援（助成金、支援金、相談、よくある質問、改修相談、公文協歌舞伎等）
 - ⑧公立文化施設データベース（施設検索）
 - ⑨専門人材情報（アドバイザー 10名 コーディネーター 64名）
 - ⑩ウェブサイト 公演企画Navi
 - ⑪リンク（文化庁、会員施設、賛助会員等のホームページ）
 - ⑫公文協事業アーカイブ
 - ⑬情報プラザ（地域等からの情報発信）
 - ⑭劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト
 - ⑮新型コロナ対策関連情報※令和3年度中のアクセス数 748,451件
- 2 全国公立文化施設名簿の発行
全国の公立文化施設の情報（約2,200施設）を掲載
- 3 「全国公文協情報フォーラム」（メールマガジン）による情報発信（第104号～第115号）
- 4 専門人材情報（アドバイザー・コーディネーター）登録制度
- 5 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援
- 6 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査
(3から5については、「E 文化庁委託事業1の(1)の項」参照)

D 公立文化施設支援事業

- 1 全国公立文化施設協会統一企画“松竹大歌舞伎”
※新型コロナウイルス感染症拡大のため全公演中止、2022年度分も中止に伴い調査も未実施
- 2 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業
文化庁の統括団体を対象とした補助金事業に申請し採択を受け、全国の29館の82事業122公演を共催するとともに事務局として専用サイトを立ち上げて広報を行った。
- 3 公文協公演情報&TICKETS並びに公文協貸館ソリューション
全国の施設の公演・チケット情報のポータルサイト等として運用してきたが、実用性の観点から検討を行い、年度末を持って運用を終了した。
- 4 公文協シアターアーカイブス
令和2年度文化庁受託事業の一環として開設した配信ポータルサイト「公文協シアターアーカイブ

ス」は、4月より公文協事業として継続運営を行っていたが、費用対効果の観点から検討を行い、年度末を持って運用を終了した。

E 文化庁委託事業

1 「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

(1) 芸術文化情報提供事業

①劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

劇場・音楽堂等の事業、管理・運営、アートマネジメント及び舞台技術に関する情報や資料等を幅広く収集・整備し、劇場・音楽堂等関係者や研究者、一般市民、学生等に提供した。電話、メール、郵便、ファックス等を活用して幅広く対応を行った。

ア 「全国公立文化施設協会ホームページ（全国劇場・音楽堂等総合情報サイト）」

(<http://www.zenkoubun.jp>) による情報発信 (「C 情報提供事業1の項」参照)

イ 「全国公文協情報フォーラム」(メールマガジン) による情報発信

第119号 (2021年7月15日発行)

第120号 (2021年8月16日発行)

第121号 (2021年9月15日発行)

第122号 (2021年10月15日発行)

第123号 (2021年11月15日発行)

第124号 (2021年12月15日発行)

第125号 (2022年1月17日発行)

第126号 (2022年2月15日発行)

第127号 (2022年3月15日発行) 別途、臨時号発行

ウ 劇場・音楽堂等専門人材情報(コーディネーター)登録制度

登録者数: アドバイザー 10名

コーディネーター 64名

②劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援

ア 支援員の派遣による支援(支援員)

劇場・音楽堂等に自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する専門家を派遣し、指導や助言を行った。

実施実績: 30件 62回

イ 日常相談業務対応

芸術文化活動にかかる相談について、電話、メール、直接対応等による相談を受け、相談者と専門家等をつなぐ等の相談対応を実施した。

対応件数: 電話、メールでの問い合わせ件数 70件

来所相談 2件

オンライン相談 3件

③劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場・音楽堂等の振興に係る諸施策に資することを目的に、劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染症の影響について調査を行った。

タイトル: 劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査

調査期間: 令和3年10月18日～11月17日

調査対象: 国公立施設 2,142 施設

回答数(回答率): 1,349 施設(62.98%)

調査報告書: 令和4年3月

(2) 研修・交流事業

①劇場・音楽堂等職員(アートマネジメント・舞台技術)研修会

第1号議案

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントと舞台技術に関する専門的研修を体系的に実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図るための支援を行った。

ア 全国劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

○ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

形 式：オンライン（事前収録、ライブ配信）

視聴期間：令和4年1月11日～2月28日（内ライブ配信 1月12日～14日）

収 録 日：世田谷パブリックシアター他

内 容：特別企画 1プログラム（野村萬斎氏）

講義 6プログラム

令和2年度講座 再配信 8プログラム

申込者数：1,741名

閲 覧 数：延べ4,126名（6,652回）

○ 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

開 催 日：令和3年12月20日～12月22日

会 場：新国立劇場 中劇場（東京都渋谷区本町1丁目1番1号）

内 容：講義 4プログラム

参加者数：69名

イ 地域別劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

○ 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

実 施：6地域6施設

1地域は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止とした。

参加者数：321名（170施設）

○ 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

実 施：7地域7施設

参加者数：299名（164施設）

Ⅱ 法人会計（法人運営）

1 定時総会

日 時 令和3年6月10日（木） 午後1時40分～午後2時30分

場 所 栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8 メインホール）

- （1）司会進行者松本辰明専務理事が開会宣言。
- （2）定款第15条により、議長に池澤真司氏（栃木県総合文化センター 館長）を選出。
- （3）出席正会員1,070名（議決権を有する総正会員数1,302名、出席正会員68名、委任状提出1,002名）で定款第17条による総正会員数の過半数の定足数を満たし、本総会が有効に成立している旨の報告がある。
- （4）議事録署名人として、定款第19条により池澤真司議長と、正会員の中から岡崎隆司氏（鳥取県立県民文化会館）を選出。
- （5）次の事項を審議し、承認した。

第1号議案 令和2年度事業報告

第2号議案 令和2年度会計決算報告並びに監査報告

第3号議案 理事15名の選任

理事

野村 萬斎（野村 武司）、岡崎 隆司、丹羽 康雄、岸 正人、高萩 宏、
浦島 浩史、青木 直之、伊藤 克彦、浅野 芳夫、山下 英之、高橋 英生、
御厨 安守、矢作 勝義、本田 恵介、荒木 靖昌

第4号議案 監事2名の選任

木村 匡成、影澤 政司

2 定例理事会

第1回理事会

日 時 令和3年5月21日（金） 午後1時30分～午後4時55分

場 所 東京都中小企業会館 9階 講堂

開催方法 集会による対面式会議を主とし、一部WEB形式によるリモート参加可能型

（1）定款第32条第2項および令和3年5月14日に開催した臨時理事会の決定により岡崎隆司副会長を議長とした。

（2）理事現在数14名のうち、本日の出席理事12名（WEBによる出席理事5名含む）にて、定款33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。

（3）議事録署名人として、定款第34条第2項により田村孝子副会長、岡崎隆司副会長、山本好志監事、木村匡成監事を確認。

（4）次の事項を審議し、決議した。

①令和3年度定時総会付議議案

第1号議案 令和2年度事業報告

第2号議案 令和2元年度会計決算報告並びに監査報告

第3号議案 任期満了に伴う理事の選任、15名の候補者について

第4号議案 任期満了に伴う監事の選任、2名の候補者について

②令和3年度定時総会の議題の決定

③支部規程第5条第2項に基づく支部長7名の承認

④専門委員会規程第5条第2項に基づく専門委員会委員長、副委員長の承認

⑤定款第6条に基づく新規入会申請の承認（正会員14施設・準会員1施設・賛助会員2社）

⑥令和3年度支部運営配付決定額

（5）次の事項を報告した。

① 7支部からの活動状況報告

② 専門委員会からの活動状況報告

③ 後援名義等の使用承認の報告

第1号議案

- ④ 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告
- ⑤ 令和3年度文化庁補助事業・委託事業について（基盤整備事業、アートキャラバン事業）

第2回理事会

日 時 令和3年10月26日（火）午後1時30分～午後3時58分

場 所 全国公立文化施設協会 事務所内を主たる開催場所とする

開催方法 WEB形式によるリモート会議

- （1）定款第32条第2項により、議長に岡崎隆司副会長を選出。
- （2）理事現在数15名、出席理事14名にて、定款第33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- （3）議事録署名人として、定款第34条第2項により岡崎隆司副会長、丹羽康雄副会長、影澤政司監事を確認。
- （4）次の事項を審議し、決議した。
 - ① 定款第6条に基づく新規入会申請の承認（正会員7施設・賛助会員3団体、1個人）
 - ② 役員賠償責任保険の加入
 - ③ 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程（案）
- （5）次の事項を報告した。
 - ① 7支部からの活動状況報告
 - ② 専門委員会からの活動状況報告
 - ③ 後援名義等の使用承認報告
 - ④ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
 - ⑤ 事務局事務分担について
 - ⑥ 令和4年度支部運営配付額決定の基準
 - ⑦ 令和4年度文化庁概算要求の概要
 - ⑧ 令和3年度主な協会事業について（設立60年記念事業、公文協シタアーカイブス今後の運用）
 - ⑨ 令和3年度文化庁委託事業について（基盤整備事業）

第3回理事会

日 時 令和4年2月1日（火）午後1時30分～午後3時40分

場 所 全国公立文化施設協会 事務所内を主たる開催場所とする

開催方法 WEB形式によるリモート会議

- （1）定款第32条第2項により、議長に岡崎隆司副会長を選出。
- （2）理事現在数15名、出席理事14名にて、定款33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- （3）議事録署名人として、定款第34条第2項により岡崎隆司副会長、丹羽康雄副会長、木村匡成監事、影澤政司監事を確認。
- （4）次の事項を審議し、決議した。
 - ① 令和4年度事業計画(案)
 - ② 令和4年度収支予算(案)
 - ③ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込み
 - ④ 定款第6条に基づく新規入会申請の承認（正会員4施設・賛助会員2団体）
 - ⑤ 令和4年度定時総会・研究大会（山形大会）の日時・場所の決定
- （5）次の事項を報告した。
 - ① 7支部からの活動状況報告
 - ② 専門委員会からの活動状況報告
 - ③ 後援名義等の使用承認報告
 - ④ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

- ⑤ 文化政策（令和4年度予算案の概要）について
- ⑥ 文化庁委託事業進捗状況について（基盤整備事業、機能強化調査事業、アートキャバレッジ事業）
- ⑦ 協会事業等進捗状況について（60周年記念事業）

3 臨時理事会

日 時 令和3年5月14日（金）午後1時30分～午後3時00分
場 所 全国公立文化施設協会 事務所内を主たる開催場所とする
開催方法 WEB形式によるリモート会議

- （1）定款第32条第2項により、議長に岡崎隆司副会長を選出。
- （2）理事現在数14名、出席理事12名にて、定款第33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- （3）議事録署名人として、定款第34条第2項により岡崎隆司副会長、田村孝子副会長、木村匡成監事、山本好志監事を確認。
- （4）定款第30条第3項第2号の規定に基づいて岡崎副会長が開催通知を発した経緯について説明があり、当該理事より招集目的、理由、議事事項について示された。
- （5）次の事項を審議し、決議した。
 - ① 会長候補者への意向打診の経過と結果の情報共有（第2候補者の辞退理由に対する理事会の判断）
 - ② 今後の会長候補者の選定及び打診の進め方について（第3候補者及第4候補者への対応）
 - ③ 第5候補者の選定について（新たな候補者2名の推薦）

日 時 令和3年6月10日（木）午後2時37分～午後2時49分
場 所 栃木県総合文化センター メインホール楽屋6（栃木県宇都宮市本町1-8）
開催方法 集会による対面式会議

- （1）定款第32条第2項により、理事から推薦があり浅野芳夫理事を議長とした。
- （2）理事現在数15名、出席理事14名にて定款第33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- （3）次の事項を審議し、決議した。

会長、副会長、専務理事、常務理事の選定について

会 長 野村 萬斎（野村 武司）

副 会 長 岡崎 隆司

副 会 長 丹羽 康雄

専務理事 岸 正人

常務理事 高萩 宏

日 時 令和3年8月3日（火）午後1時00分～午後3時05分
場 所 全国公立文化施設協会 事務所内を主たる開催場所とする
開催方法 WEB形式によるリモート会議

- （1）定款第32条第2項により、議長に岡崎隆司副会長を選出。
- （2）理事現在数15名、出席理事13名にて、定款33条による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- （3）議事録署名人として、定款第34条第2項により岡崎隆司副会長、丹羽康雄副会長、影澤政司監事を確認。
- （4）次の事項を審議し、決議した。
 - ① 令和3年度事業計画（補正案）
 - ② 令和3年度 収支補正予算（案）

第1号議案

③ 常勤役員の報酬（案）について

（5）次の事項を協議し、今後進めていくこととした。

① 令和5年度総会・研究大会（沖縄大会）の日程について

② 専門委員会内の検討プロジェクトチーム設置と理事会への諮問案について

（6）次の事項を報告した。

①事務局業務分担について

②公益法人協会団体制度保険への加入について

③会長動向について

4 協会設立60周年記念事業

- ・同「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンベンション」として11月～2月に募集し、30件の応募を受け、3施設を採択した。総会での表彰と秋の記念誌発行を予定している。

5 新型コロナウイルス感染症への取り組み

- ・劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
10月15日：改定、チェックリストの策定
- ・その他
文化芸術振興議員連盟勉強会等への報告対応
各施設からの問合せ等の対応、関係諸団体との情報共有等

6 令和3年度（2021年度）会員入会状況

①支部別正会員施設数

地区	令和2年度 決算	令和2年度決算後 退会	令和3年度 入会	令和3年度 決算
北海道	51	0	0	51
東北	147	3	1	145
関東甲信越静	402	6	6	402
東海北陸	167	2	0	165
近畿	186	5	12	193
中四国	166	1	4	169
九州	184	6	5	183
計	※1,303	23	28	1,308

※1館年会費免除

②準会員数

令和2年度 決算	令和2年度決算後 退会	令和3年度 入会	令和3年度 決算
31	1	1	31

③賛助会員数

令和2年度 決算	令和2年度決算後 退会	令和3年度 口数変更	令和3年度 入会	令和3年度 決算
団体79（104口） 個人7（7口）	団体7（7口）	0	団体6（6口） 個人1（1口）	団体78（103口） 個人8（8口）

注：賛助会員は複数口の申込みがあるため会員数と口数は一致しない

第1号議案

正会員

No	都道府県	コードNo.	施設名	入会承認日
1	宮城県	042682	石巻市複合文化施設	R3. 5. 21
2	東京都	131527	曳舟文化センター	R4. 2. 1
3	東京都	132675	国分寺市立cocobunjiプラザ	R3. 2. 2
4	神奈川県	142679	小田原市民ホール	R3. 5. 21
5	神奈川県	142692	横浜市瀬谷区民文化センター	R3. 10. 26
6	神奈川県	142693	平塚文化芸術ホール	R3. 10. 26
7	新潟県	152684	五泉市交流拠点複合施設	R3. 5. 21
8	滋賀県	250871	ガリバーホール	R3. 5. 21
9	滋賀県	252301	藤樹の里文化芸術会館	R3. 5. 21
10	京都府	262683	みやづ歴史の館	R3. 5. 21
11	大阪府	272676	高槻市立生涯学習センター	R3. 2. 2
12	大阪府	272677	高槻市立総合市民交流センター	R3. 2. 2
13	大阪府	272678	枚方市総合文化芸術センター	R3. 2. 2
14	大阪府	272680	豊中市立伝統芸能館	R3. 5. 21
15	大阪府	272686	箕面市立文化芸術劇場	R3. 5. 21
16	兵庫県	282308	西脇市立音楽ホール	R3. 5. 21
17	兵庫県	282681	西脇市市民交流施設	R3. 5. 21
18	兵庫県	282690	養父市立やぶ市民交流広場	R3. 10. 26
19	和歌山県	302691	和歌山城ホール	R3. 10. 26
20	岡山県	332688	岡山芸術創造劇場	R3. 5. 21
21	岡山県	332694	高梁市文化交流館	R3. 10. 26
22	広島県	342685	呉市民ホール	R3. 5. 21
23	愛媛県	382695	八幡浜市民文化活動センター	R3. 10. 26
24	熊本県	431300	益城町文化会館	R3. 5. 21
25	熊本県	431308	熊本市子ども文化会館	R4. 2. 1
26	大分県	442687	さいき城山桜ホール	R3. 5. 21
27	沖縄県	472672	那覇文化芸術劇場 なはーと	R3. 10. 26
28	沖縄県	472697	糸満市観光文化交流拠点施設	R4. 2. 1

準会員

No	都道府県	コードNo.	施設名	入会承認日
1	大阪府	J276023	豊中市立市民ギャラリー	R3. 5. 21

賛助会員

No	都道府県	個人・団体名	入会承認日
1	埼玉県	牧野 俊浩	R3. 10. 26
2	東京都	有限会社アイケイ・オフィス	R3. 10. 26
3	東京都	株式会社インフォメーションクリエーティブ	R3. 5. 21
4	東京都	Riedel Communications Japan株式会社	R3. 10. 26
5	神奈川県	株式会社サウンドダック	R4. 2. 1
6	神奈川県	日本アビオニクス株式会社	R3. 5. 21
7	大阪府	東邦レオ株式会社	R3. 10. 26

第1号議案

7 令和2年度（2020年度）退会状況（参考）

正会員

No	都道府県	施設名	退会日	退会理由
1	青森県	弘前文化会館	R3.3.31	改修工事のため休館
2	福島県	大熊町文化センター	R3.3.31	復旧・再開未定のため
3	福島県	下郷ふれあいセンター	R3.3.31	諸般の都合
4	栃木県	足利市民会館	R3.3.31	閉館のため
5	栃木県	日光市日光総合会館	R3.3.31	指定管理者変更のため
6	栃木県	栃木市都賀文化会館	R3.3.31	閉館のため
7	埼玉県	入間市市民会館	R3.3.31	改修工事のため閉鎖
8	東京都	曳舟文化センター	R3.3.31	休館のため
9	神奈川県	神奈川県社会福祉会館	R3.3.31	社会福祉施設業態変更
10	福井県	福井市文化会館	R3.3.31	閉館のため
11	岐阜県	岐阜産業会館	R3.3.31	閉館のため
12	京都府	京都こども文化会館	R3.3.31	閉館のため
13	京都府	宮津会館	R3.3.31	老朽化のため休館
14	兵庫県	西脇市民会館	R3.3.31	閉館のため
15	兵庫県	加東市滝野文化会館	R3.3.31	社会教育施設へ業態変更
16	奈良県	桜井市民会館	R3.3.31	休館のため
17	徳島県	鳴門市文化会館	R3.3.31	休館のため
18	佐賀県	唐津市民会館	R3.3.31	閉館のため
19	佐賀県	白石町有明スカイパークふれあい郷	R3.3.31	運営に関する諸般の事情
20	熊本県	熊本市子ども文化会館	R3.3.31	改修工事に伴う臨時休館
21	熊本県	熊本市火の君文化センター	R3.3.31	諸般の都合
22	大分県	佐伯文化会館	R3.3.31	閉館のため
23	鹿児島県	薩摩川内市川内文化ホール	R3.3.31	閉館のため

準会員

No	都道府県	施設名	退会日	退会理由
1	大阪府	大阪府立中之島図書館	R3.3.31	指定管理者変更

賛助会員

No	都道府県	団体名	退会日	退会理由
1	東京都	公益財団法人スポーツ安全協会	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症の影響
2	東京都	公益財団法人都民劇場	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症の影響
3	東京都	コクヨ株式会社	R3.3.31	諸般の事情
4	東京都	株式会社コムネットシステム	R3.3.31	諸般の事情
5	東京都	株式会社 Light Stage	R3.3.31	諸般の事情
6	岡山県	グッドラック・プロモーション株式会社	R3.3.31	諸般の事情
7	大分県	株式会社オーイーシー	R3.3.31	施設予約システムの提供ができないため

Ⅲ 収益事業

1 団体保険制度の概要

(1) 公立文化施設賠償責任保険・公立文化施設利用者見舞費用・個人賠償責任保険

①施設所有（管理）者賠償責任保険・昇降機賠償責任保険

文化施設の設置、管理、運営に原因がある人身事故、物損事故等に対して、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

②受託者賠償責任保険

展示会等で第三者から預かった受託物・展示品の破損等で被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

③自動車管理者賠償責任保険

利用者駐車場に預かった自動車の破損等で被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

④マネー包括保険（オプション）

被保険者が管理する現金、有価証券に生じた盗難、火災等の損害を補償。

⑤鍵再作成費用等補償特約（オプション）

被保険者が管理する施設の鍵の紛失または盗難により、外部からの不正侵入リスク等を回避するために鍵を再作成する場合に発生する費用等を補償。

⑥飲食物危険補償特約（オプション）

祭りやイベント等で提供した飲食物に起因して、第三者に身体障害を与えたことにより、被保険者が法律上の損額賠償責任を負担することによって被る損害を補償する特約。

⑦業務委託先追加補償特約（自治体（指定管理者以外）向けオプション）

施設の管理・運営業務の委託を受けた業者を被保険者に追加する特約。

⑧指定管理者特約（指定管理者向けオプション）

管理動産特約・管理不動産特約・サイバープロテクター特約の3つの補償を組み合わせた特約。

⑨公立文化施設利用者見舞費用保険・個人賠償責任保険

管理する文化施設において発生した事故への対応で実際に負担した費用および事故の被災者への見舞金等を補償。

(2) 公立文化施設自主事業中止保険（興行中止保険）

①興行中止保険

主催する屋内の自主行事が偶然の事故により開催できなくなった場合に、負担した事業の各種費用を補償。

②不出演リスク補償（オプション）

基本補償では補償対象とならない、出演予定者の身体の障害を理由として興行が開催できなくなった場合に、負担した事業の各種費用を補償。

③地震危険補償特約（オプション）

地震、地震に伴う津波・噴火、もしくは地震に伴う火災により中止になった場合、負担した費用等を補償。

(3) 公立文化施設貸館対応興行中止保険

①興行中止対応費用

・文化施設の貸出区画または貸出区画が属する建物、什器、設備等が焼失、損傷または汚損し、貸出区画の利用の中止を余儀なくされたとき興行を予定していた法人、団体等に発生した費用を補償。

・災害対策基本法に基づき、「指定避難所」または「指定緊急避難場所」として使用されることによって貸出不能になった場合も補償。

第1号議案

②保険金拡大補償特約（オプション）

①に加え、舞台や楽器に関する費用（キャンセル費用、運搬費用等）及び出演者への報酬、交通・宿泊に関する費用等も補償。

③電氣的・機械的事故補償特約（オプション）

什器または設備等に電氣的・機械的事故（故障を含む）が生じたことにより貸出区画の利用の中止を余儀なくされた場合も補償。

④興行中止見舞金

災害見舞金規定に基づき、施設の利用を予定していた企業・団体への見舞金。

(4) 社団法人・財団法人向け役員賠償責任保険

法人の役員（被保険者＝理事・監事）が役員の業務につき行った行為に起因して、損害賠償請求を受けたときに、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償。

(5) 公立文化施設休業等補償保険

対象施設の所在する建物、その敷地内の占有物件、建物に隣接するアーケード等、ユーティリティ設備が、火災、落雷、破裂・爆発、風・雹（ひょう）・雪災、水災、建物外部からの物体の落下・飛来等、給排水設備に生じた事故に伴う漏水・放水・溢水（いっすい）等、騒擾（そうじょう）・労働争議、盗難によって損害を受けた結果生じた損失に対して保険金をお支払いします。また、食中毒または特定感染症（注）により対象施設の営業が休止または阻害されたために生じた損失に対しても保険金をお支払いします。

2 令和3年度（2021年度）公立文化施設制度保険加入状況

(1) 賠償責任保険・利用者見舞費用保険

（正会員）	加入件数(件)	保険料(円)
賠償責任保険	913	78,024,790
業務委託先追加特約	7	218,130
サイバー	168	10,819,330
マネー包括	45	1,060,010
利用者見舞費用	746	26,571,500
休業等補償	8	313,610
計		117,007,370

事故件数(件)	支払保険金額(円)
18	2,446,680
0	0
0	0
0	0
45	1,460,000
0	0
63	3,906,680

（準会員）	加入件数(件)	保険料(円)
賠償責任保険	11	963,790
サイバー	2	170,870
マネー包括	1	30,000
利用者見舞費用	11	187,500
休業等補償	0	0
計		1,352,160

事故件数(件)	支払保険金額(円)
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0

(2) 自主事業中止保険

（正会員）	加入件数(件)	保険料(円)
自主事業	154	6,021,370
地震危険補償特約	34	292,750
不出演リスク	1	38,350
計		6,352,470

事故件数(件)	支払保険金額(円)
1	12,101
0	0
0	0
1	12,101

(3) 貸館対応興行中止保険

（正会員）	加入件数(件)	保険料(円)
興行中止	321	59,085,010
約定履行	201	9,283,320
計		68,368,330

事故件数(件)	支払保険金額(円)
0	0
0	0
0	0

（準会員）	加入件数(件)	保険料(円)
興行中止	2	255,000
約定履行	1	50,000
計		305,000

事故件数(件)	支払保険金額(円)
0	0
0	0
0	0

(4) 役員賠償責任保険

（正会員）	加入件数(件)	保険料(円)
賠償責任保険	38	4,355,000

事故件数(件)	支払保険金額(円)
0	0

（準会員）	加入件数(件)	保険料(円)
賠償責任保険	1	129,000

事故件数(件)	支払保険金額(円)
0	0

保険合計	加入件数(件)	保険料(円)
		197,869,330

事故件数(件)	支払保険金額(円)
64	3,918,781

※新型コロナウイルスの影響による自主事業中止保険など、支払保険金額が確定していないものは含まれていません

Ⅳ 令和3年度事業報告 附属明細書

令和3年度 事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 全国公立文化施設協会

貸借対照表

令和4年 3月31日現在

公益社団法人全国公立文化施設協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	166,805,179	325,668,522	▲ 158,863,343	
未収金	321,884	893,119	▲ 571,235	
前払金	742,222	741,252	970	
立替金	5,629	6,665	▲ 1,036	
未収消費税等	2,995,900	0	2,995,900	
流動資産合計	170,870,814	327,309,558	▲ 156,438,744	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	22,840,000	22,840,000	0	
基本財産合計	22,840,000	22,840,000	0	
(2) その他固定資産				
什器備品	764,016	577,806	186,210	
敷金	3,001,374	3,001,374	0	
その他固定資産合計	3,765,390	3,579,180	186,210	
固定資産合計	26,605,390	26,419,180	186,210	
資産合計	197,476,204	353,728,738	▲ 156,252,534	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	3,709,055	159,180,957	▲ 155,471,902	
前受金	0	50,000	▲ 50,000	
預り金	65,909,156	44,937,493	20,971,663	
保険料預り金	8,907,520	10,430,030	▲ 1,522,510	
未払法人税等	70,000	70,000	0	
未払消費税等	0	5,827,500	▲ 5,827,500	
流動負債合計	78,595,731	220,495,980	▲ 141,900,249	
2. 固定負債				
退職給付引当金	3,547,650	3,831,650	▲ 284,000	
60周年記念事業引当金	3,640,364	4,000,000	▲ 359,636	
固定負債合計	7,188,014	7,831,650	▲ 643,636	
負債合計	85,783,745	228,327,630	▲ 142,543,885	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	111,692,459	125,401,108	▲ 13,708,649	
	(22,840,000)	(22,840,000)	0	
正味財産合計	111,692,459	125,401,108	▲ 13,708,649	
負債及び正味財産合計	197,476,204	353,728,738	▲ 156,252,534	

正味財産増減計算書

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

公益社団法人全国公立文化施設協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[1,256]	[2,284]	[▲ 1,028]	
基本財産受取利息	1,256	2,284	▲ 1,028	
受正社員受取会費	[42,802,000]	[42,664,000]	[138,000]	1,308館分
正社員受取会費	36,624,000	36,456,000	168,000	31件分
準助業員受取会費	868,000	868,000	0	法人103口、個人8口
事業収益	5,310,000	5,340,000	▲ 30,000	
受託事業収益	[84,992,684]	[381,290,319]	[▲ 296,297,635]	文化庁委託事業費
調査研究事業収益	70,687,185	365,241,879	▲ 294,554,694	
文化芸術事業収益	597,000	0	597,000	
文保研修事業収益	2,807,440	2,956,240	▲ 148,800	
受託事業収益	1,320,000	1,528,700	▲ 208,700	
受託事業収益	9,581,059	9,259,500	321,559	
受託事業収益	0	2,304,000	▲ 2,304,000	
受託事業収益	[5,703,197]	[27,252,320]	[▲ 21,549,123]	
受託事業収益	5,703,197	27,252,320	▲ 21,549,123	委託費一般管理費
受託事業収益	[0]	[1,083,000]	[▲ 1,083,000]	
受託事業収益	0	1,083,000	▲ 1,083,000	
受託事業収益	[0]	[120,000]	[▲ 120,000]	
受託事業収益	0	120,000	▲ 120,000	
受託事業収益	[55,018]	[1,861]	[53,157]	
受託事業収益	865	861	4	
受託事業収益	54,153	1,000	53,153	
経常収益計	133,554,155	452,413,784	▲ 318,859,629	
(2) 経常費用				
事業費	[118,992,686]	[411,185,504]	[▲ 292,192,818]	
給与手当	15,501,694	21,527,189	▲ 6,025,495	
賞与	20,483,949	23,657,478	▲ 3,173,529	
法定福利費	5,072,962	6,942,600	▲ 1,869,638	
退職給付	134,135	2,725,042	▲ 2,590,907	
福厚遣い	296,500	184,500	112,000	
旅通費	2,573,739	5,342,317	▲ 2,768,578	
旅通費	156,006	89,694	66,312	
旅通費	4,952,564	4,714,200	238,364	
旅通費	3,828,401	1,870,855	1,957,546	
旅通費	292,464	380,696	▲ 88,232	
旅通費	2,704,090	1,155,631	1,548,459	
旅通費	45,375	63,580	▲ 18,205	
旅通費	5,304,525	3,138,658	2,165,867	
旅通費	113,912	151,937	▲ 38,025	
旅通費	6,004,611	6,805,227	▲ 800,616	
旅通費	6,324,176	4,891,243	1,432,933	
旅通費	5,207,650	6,109,525	▲ 901,875	
旅通費	2,486,950	6,940,970	▲ 4,454,020	
旅通費	0	24,404	▲ 24,404	
旅通費	36,897,607	314,302,036	▲ 277,404,429	
旅通費	62,762	0	62,762	
旅通費	548,614	167,722	380,892	
旅通費	[28,200,118]	[22,116,063]	[6,084,055]	
旅通費	1,200,000	0	1,200,000	
旅通費	3,451,892	3,559,900	▲ 108,008	
旅通費	4,921,631	4,110,345	811,286	
旅通費	2,151,896	1,156,388	995,508	
旅通費	103,615	1,106,608	▲ 1,002,993	
旅通費	0	395,650	▲ 395,650	
旅通費	233,583	183,862	49,721	
旅通費	837,926	0	837,926	
旅通費	6,190	6,267	▲ 77	
旅通費	1,831,389	989,158	842,231	
旅通費	891,556	772,549	119,007	
旅通費	237,703	113,690	124,013	
旅通費	337,830	288,469	49,361	
旅通費	2,554,200	0	2,554,200	
旅通費	818,394	1,801,194	▲ 982,800	
旅通費	23,925	20,020	3,905	
旅通費	485,650	319,000	166,650	
旅通費	37,970	26,812	11,158	
旅通費	2,001,537	1,200,921	800,616	
旅通費	682,214	482,959	199,255	
旅通費	157,000	0	157,000	
旅通費	3,001,350	3,065,900	▲ 64,550	
旅通費	724,240	1,172,740	▲ 448,500	
旅通費	314,500	179,500	135,000	
旅通費	0	4,306	▲ 4,306	
旅通費	1,036,122	1,121,724	▲ 85,602	
旅通費	3,300	20,301	▲ 17,001	
旅通費	154,505	17,800	136,705	
経常費用計	147,192,804	433,301,567	▲ 286,108,763	
評価損益調整前当期増減額	▲ 13,638,649	19,112,217	▲ 32,750,866	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 13,638,649	19,112,217	▲ 32,750,866	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前一般正味財産増減額	▲ 13,638,649	19,112,217	▲ 32,750,866	
法人税等、住民税及び事業税	70,000	70,000	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 13,708,649	19,042,217	▲ 32,750,866	
一般正味財産期首残高	125,401,108	106,358,891	19,042,217	
一般正味財産期末残高	111,692,459	125,401,108	▲ 13,708,649	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	111,692,459	125,401,108	▲ 13,708,649	

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人全国公立文化施設協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業	保険事業	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	[0]	[0]	[1,256]	[1,256]	
基本財産受取利息	[0]	[0]	[1,256]	[1,256]	
正会員受取会費	[21,401,000]	[0]	[21,401,000]	[42,802,000]	1,308館分
正職員受取会費	18,312,000	0	18,312,000	36,624,000	31件分
正補助員受取会費	434,000	0	434,000	868,000	法人103口、個人8口
事業収益	2,655,000	0	2,655,000	5,310,000	
委託事業収益	[75,411,625]	[9,581,059]	[0]	[84,992,684]	文化庁委託事業費
調査研究事業収益	70,687,185	0	0	70,687,185	
文化芸術事業収益	597,000	0	0	597,000	
文化芸術事業収益	2,807,440	0	0	2,807,440	
文化芸術事業収益	1,320,000	0	0	1,320,000	
受託事業収益	0	9,581,059	0	9,581,059	
受託事業収益	[5,703,197]	[0]	[0]	[5,703,197]	
受託事業収益	5,703,197	0	0	5,703,197	委託費一般管理費
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	[0]	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	[0]	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	[0]	
受取補助金等	[10,307]	[272]	[44,439]	55,018]	
受取補助金等	154	272	439	865	
受取補助金等	10,307	272	44,439	55,018	
経常収益計	102,526,129	9,581,331	21,446,695	133,554,155	
(2) 経常費用					
事業費	[110,498,177]	[8,494,509]	[0]	[118,992,686]	
給与手当	13,052,295	2,449,399	0	15,501,694	
賃金	17,005,609	3,478,340	0	20,483,949	
退職給付	4,410,186	662,776	0	5,072,962	
退職給付	106,005	28,130	0	134,135	
退職給付	247,000	49,500	0	296,500	
派遣労働者賃金	2,573,739	0	0	2,573,739	
派遣労働者賃金	156,006	0	0	156,006	
旅費交通費	4,952,564	0	0	4,952,564	
旅費交通費	3,767,762	60,639	0	3,828,401	
旅費交通費	273,405	19,059	0	292,464	
旅費交通費	2,632,545	71,545	0	2,704,090	
旅費交通費	39,325	6,050	0	45,375	
旅費交通費	5,304,525	0	0	5,304,525	
旅費交通費	98,724	15,188	0	113,912	
旅費交通費	5,203,997	800,614	0	6,004,611	
旅費交通費	6,165,427	158,749	0	6,324,176	
旅費交通費	4,871,050	336,600	0	5,207,650	
旅費交通費	2,202,290	284,660	0	2,486,950	
旅費交通費	0	0	0	0	
旅費交通費	36,824,347	73,260	0	36,897,607	
旅費交通費	62,762	0	0	62,762	
旅費交通費	548,614	0	0	548,614	
役員報酬	[0]	[0]	[28,200,118]	[28,200,118]	
役員報酬	0	0	1,200,000	1,200,000	
役員報酬	0	0	3,451,892	3,451,892	
役員報酬	0	0	4,921,631	4,921,631	
役員報酬	0	0	2,151,896	2,151,896	
役員報酬	0	0	103,615	103,615	
役員報酬	0	0	0	0	
役員報酬	0	0	233,583	233,583	
役員報酬	0	0	837,926	837,926	
役員報酬	0	0	6,190	6,190	
役員報酬	0	0	1,831,389	1,831,389	
役員報酬	0	0	891,556	891,556	
役員報酬	0	0	237,703	237,703	
役員報酬	0	0	337,830	337,830	
役員報酬	0	0	2,554,200	2,554,200	
役員報酬	0	0	818,394	818,394	
役員報酬	0	0	23,925	23,925	
役員報酬	0	0	485,650	485,650	
役員報酬	0	0	37,970	37,970	
役員報酬	0	0	2,001,537	2,001,537	
役員報酬	0	0	682,214	682,214	
役員報酬	0	0	157,000	157,000	
役員報酬	0	0	3,001,350	3,001,350	
役員報酬	0	0	724,240	724,240	
役員報酬	0	0	314,500	314,500	
役員報酬	0	0	0	0	
役員報酬	0	0	1,036,122	1,036,122	
役員報酬	0	0	3,300	3,300	
役員報酬	0	0	154,505	154,505	
経常費用計	110,498,177	8,494,509	28,200,118	147,192,804	
評価損益調整前当期増減額	▲ 7,972,048	1,086,822	▲ 6,753,423	▲ 13,638,649	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 7,972,048	1,086,822	▲ 6,753,423	▲ 13,638,649	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 7,972,048	1,086,822	▲ 6,753,423	▲ 13,638,649	
税引前一般正味財産増減額	▲ 7,972,048	1,086,822	▲ 6,753,423	▲ 13,638,649	
法人税等、住民税及び事業税	0	0	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	▲ 7,972,048	1,086,822	▲ 6,823,423	▲ 13,708,649	
一般正味財産期首残高	▲ 37,774,463	7,491,797	155,683,774	125,401,108	
一般正味財産期末残高	▲ 45,746,511	8,578,619	148,860,351	111,692,459	
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	▲ 45,746,511	8,578,619	148,860,351	111,692,459	

第 2 号議案

財産目録

令和4年 3月31日現在

公益社団法人全国公立文化施設協会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	普通預金 みずほ銀行笹塚支店	運転資金	4,026,242
		普通預金 みずほ銀行上野支店	運転資金	8,907,520
		普通預金 みずほ銀行新宿新都心支店	運転資金	997,263
		普通預金 みずほ銀行銀座中央支店	運転資金	134,934,122
		普通預金 みずほ銀行銀座中央支店	運転資金	7,837,217
		普通預金 (支部)	運転資金	10,102,815
	未収金	香川県民ホール	基盤整備事業地域別研修会仮払金清算残金戻入分	233,514
		びあ(株)	公文協チケットソリューション協力負担金	82,500
		古河市役所プロジェクト推進課	書籍代	5,870
	前払金	(公財)東京都中小企業振興公社	4月分事務所賃貸料等	624,622
		日本郵便(株)	令和4年度正会員年会費請求に係る郵送料	117,600
	立替金	雇用保険料		5,629
	未収消費税等	令和3年度分		2,995,900
流動資産合計				170,870,814
(固定資産)	基本財産	定期預金	三菱東京ＵＦＪ銀行上野支店	12,840,000
			大和ネクスト銀行	10,000,000
	その他固定資産	什器備品	電話設備	385,397
			ＬＡＮ設備	378,619
	敷金	(公財)東京都中小企業振興公社	法人の管理運営に使用	3,001,374
固定資産合計				26,605,390
資産合計				197,476,204
(流動負債)	未払金	給与等	3月分	2,875,514
		その他		833,541
	預り金	(公財)北九州市芸術文化振興財団外	アートキャラバン事業補助金	60,588,740
		文化庁	アートキャラバン事業補助金残金返還分	4,966,187
		源泉所得税(報酬)		36,756
		社会保険料		317,473
	保険料預り金			8,907,520
	未払法人税等	令和3年度分(住民税)		70,000
流動負債合計				78,595,731
(固定負債)	退職給付引当金			3,547,650
	60周年記念事業引当金			3,640,364
固定負債合計				7,188,014
負債合計				85,783,745
正味財産				111,692,459
負債及び正味財産合計				197,476,204

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却方法：定率法

(2) 引当金の計上方法

①退職給付引当金：従業員に対する将来の退職金の支払いに備えるため、退職一時金制度に基づく期末要支給額を計上しております。

②60周年記念事業引当金：60周年記念事業に備えるため、支払見込額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込経理方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,840,000	0	0	22,840,000
合 計	22,840,000	0	0	22,840,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	22,840,000	(0)	(22,840,000)	(0)
合 計	22,840,000	(0)	(22,840,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	1,415,040	651,024	764,016
合 計	1,415,040	651,024	764,016

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に記載されているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期繰入額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	3,831,650	237,750	521,750	3,547,650
60周年記念事業引当金	4,000,000	0	359,636	3,640,364
合計	7,831,650	237,750	881,386	7,188,014

監査報告書

令和4年5月12日

公益社団法人 全国公立文化施設協会
会 長 野村 武司（野村 萬斎） 殿

監 事 木村 匡成 

監 事 影澤 政司 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の監査を実施いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会等の会議に出席し、又は、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書、財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

（1） 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2） 計算書類及びこれらの附属明細書、財産目録の監査結果

計算書類及びこれらの附属明細書、財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

理事の選任

理事の退任に伴い、下記のとおり理事を選任したい

理	事	漢	幸雄	(非常勤)
---	---	---	----	-------

理	事	小林	純一	(非常勤)
---	---	----	----	-------

なお、選任された場合の新理事の任期は、令和5年度定時総会までとする。

